

ファブラボという世界的な ものづくりコミュニティの取り組み

ファブラボ神田錦町 マスター 梅澤陽明

◇ ファブラボの日常

「ファブラボ」と言われる場所をご存じでしょうか。ここは「何かをつくりたい」という想いを持った人々が集う工房と言われます。子どもから大人まで、あらゆる世代の人々が、自分のアイデアを自由に形にしています。ファブラボがどのような場所なのか、さっそく訪問してみましょう。

ここには、ものづくりに挑戦したい気持ちを支援してくれる「ファブマスター」が常駐していて、初心者から熟練者まで幅広いニーズに対応し、つくるための相談に丁寧にのってくれます。アイデアがまだ曖昧な段階でも、どのように具現化できるかの道筋を一緒に考えてくれるため、解像度をグッと高くすることができます。

工房内を見渡すと、大小様々なデジタルファブリケーション機器が並んでいます。例えば、3Dプリンターでは自分のデザインを立体物として出力でき、レーザーカッターは複雑な形状も精密に切り出すことが可能です。さらに、UVプリンターを使っ

て、スマートフォンで撮ったお気に入りの写真や、自作のイラスト、デザインを直接材料に印刷することができます。これらの機器により、頭の中にあるアイデアを現実のプロダクトへと変化させることができます。電子工作に興味がある方には、マイコンやセンサーを使ったプロジェクトに取り組むための機器も充実しています。個人のクリエイターから、スタートアップ企業、教育機関、一般企業の方々までもが活用できる、とても多機能なものづくり環境があります。

工房内のテーブルには、ものづくりを学びたい子どもたちが集まっており、ファブマスターによる3Dモデリング講座が開催されています。講座に参加している子どもたちは、好奇心旺盛にコンピューターの画面に向き合い、さまざまな立体物を自由につくり上げています。自分の思い描いた形がコンピューターの中で立体化される過程に、みな夢中です。その一方で、子どもたちが協力し合い、分からない部分を教え合うことで、自然とコミュニケー

●多機能なものづくり環境

